

A. 主な動き

1. 経済

・15日、モルドバ商工会議所は、モルドバの事業家が9月4～6日にポーランド南部のクリニカ市において開催される経済フォーラムに参加する旨発表。また、本フォーラムはモルドバ企業と海外との経済関係の発展のために開催されるものであり、新たなビジネスの創出の機会とモルドバ製品の促進のためのより良い条件を創出するものであり、主な目標はEUとその隣国間における環境に優しいビジネス環境を創出することである旨発表。

2. 外政

・13日、シュューベル駐モルドバEU代表部大使は、モルドバ

の政治家は国家の将来のビジョンを有しておらず、個人あるいは党の関心事に終始している旨発言。これに対し、17日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、シュューベル大使とは定期的に会談を行っているものの、モルドバにはビジョンはあるとして同大使の発言には賛成できない旨発言。

・13日、モルドバ首相府プレス・サービスは、9月10日から11日にかけて、メドベージェフ露首相の招待によりフィラト首相がモスクワを公式訪問する旨発表。

・16日、フィラト首相は、閣議においてレアンカ副首相兼外務・欧州統合相に対しカナダ及び日本への大使館開設構想の準備を指示。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)